

2021年11月25日  
サンコーテクノ株式会社

## アルコール検知と検温、顔写真撮影を同時に実施 呼気アルコール検知・検温システムを新発売

サンコーテクノ株式会社（本社：千葉県流山市南流山三丁目10番地16/代表取締役社長：洞下 英人）は、2015年より販売している『呼気アルコール検知器 ST-3000』に非接触の検温機能を追加する拡張機器『ALCFaceVital』と、測定したアルコール濃度と検温情報、測定中の顔写真などの情報を一元管理するシステムアップ用ソフト『ALCGuardianVital』を開発し、2022年1月11日（火）より販売を開始いたします。本製品の初年度の年間売上は138百万円を目指しております。

当社では、息を吹きかけるだけで体内の残留アルコール濃度を数値化する『呼気アルコール検知器 ST-3000』と、PC連動用の基幹システム『呼気アルコール検知システム ALCGuardianNEXT』を2015年より販売してきました。本製品は、呼気中のアルコール濃度を測定中に、測定者を氏名と顔写真で同時に管理できることから、運送会社やタクシー・バス会社など緑ナンバーと呼ばれる事業会社向けに使用されております。

今回開発した拡張機器『ALCFaceVital』およびシステムアップ用ソフト『ALCGuardianVital』は、『ST-3000』と『ALCGuardianNEXT』に非接触の検温機能を追加し、アルコール検知の際に・検温・顔写真撮影を瞬時に完了させ、一元管理することが可能となりました。

2022年10月よりアルコール検知器を用いた酒気帯び有無の確認が対象事業者には義務付けられること\*が決まっていることから、今後アルコール検知器への需要は大きくなることが予想されますが、併せて、新型コロナウイルス感染症への対策として、日々の検温による健康管理の重要性も増しております。

これまで当社では、アルコール測定の際に、測定者の顔写真や運転免許証と紐づけて管理するシステム機器の販売を担ってきましたが、今回の検温情報を皮切りに、今後は血圧・脈拍の測定・管理を可能にするシステムの開発に着手するなど、アルコール測定を軸とした健康管理による安全性向上にむけた取組みを推進しているところです。

※. 改正の道路交通法施行規則では、旅客・貨物業界を中心とした緑ナンバー車両を保有している企業のみならず、白ナンバーの車両を保有する企業においても、安全運転管理者が選任されている事業所は、アルコール検知器を用いた酒気帯び有無の確認が義務付けられることとなります。

### ■定価

呼気アルコール検知・検温システムセット※<sup>1</sup> 138,000円（税別）

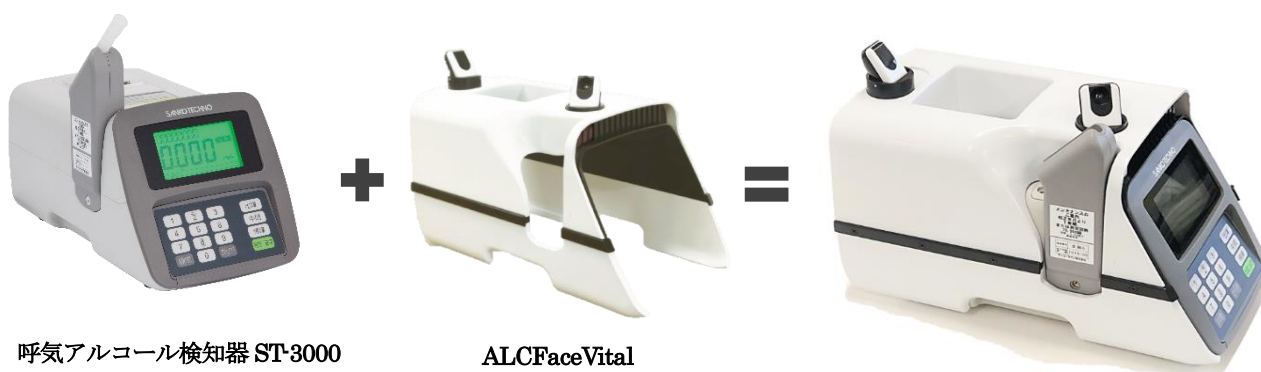
### ■特長

1. アルコール測定・非接触の検温・顔写真撮影を同時に5秒で実施
2. より見やすく使いやすく、ユーザビリティが向上した管理システム
3. オプション品の連携により運転免許証の管理も可能

※1 セット内容は、拡張機器『ALCFaceVital』とシステムアップ用ソフト『ALCGuardianVital』になります。  
ご使用には、呼気アルコール検知器システム ALCGuardianNEXT セット※2が必要となります。

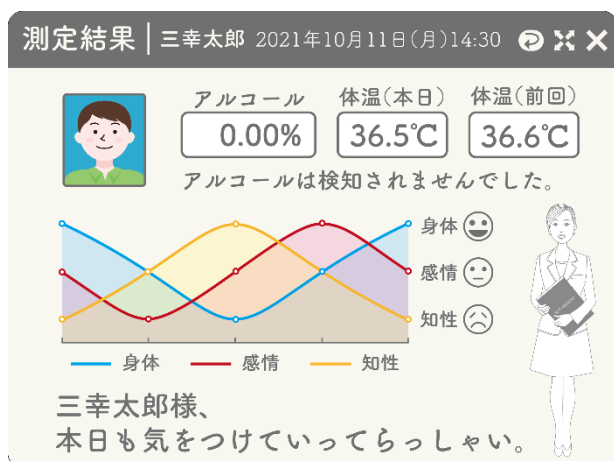
※2 セット内容は、『呼気アルコール検知器 ST-3000』と基幹システム『ALCGuardianNEXT』になります。

## ■製品画像



呼気アルコール検知器 ST-3000

ALCFaceVital



ALCGuardianVital 画面イメージ

(画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。)

## ■商品に関するお問い合わせ先

サンコーテクノ株式会社 機能材事業本部 (フリーダイヤル) Tel. 0120-071-735

## ■ニュースリリースに関するお問い合わせ先

サンコーテクノ株式会社 経営管理本部 企画部 企画グループ (田中・齊田)

Tel. 04-7178-6530 (直) / Mail. [st-webmaster@sanko-techno.co.jp](mailto:st-webmaster@sanko-techno.co.jp)

本ニュースリリースは、これまでに弊社広報担当と名刺交換をさせていただいた報道関係者にお送りしております。

なお、国土交通省交通運輸記者会に投函済みです。

今後、弊社ニュースリリースをご希望されない場合は、お手数ですが上記のお問合せ先までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。